

インスリンポンプ・持続グルコース測定器 をご使用中の受診者様へ

当クリニックでは、日本糖尿病協会、インスリンポンプ及び持続グルコース測定器の販売メーカーの指導に基づき、以下の対応を取らせていただきます。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

IMSグループ予防医学施設では、インスリンポンプ及び持続グルコース測定器を装着したまま、下記の検査をご受診いただくことはできません。

胸部 X 線

マンモグラフィ

胃部 X 線

MRI 検査

CT 各検査

※これは放射線(電磁波)等の影響を受け、何らかの誤作動や故障の原因となることが報告されているためです。
対象機器については 2 ページ目以降をご確認ください。(掲載元：公益社団法人日本糖尿病協会)

インスリンポンプ・持続グルコース測定器をご使用中の方で 検査受診を希望される方へ

- 機器を外していただければ X 線検査、MRI 検査をご受診いただけます。
ただし、**健診受診のために機器の脱着を行ってよいか、事前に主治医にご確認ください。**
機器の取り外しを行う受診者様は、交換用をご持参ください。
- 当クリニックのスタッフによる機器の脱着は行っておりません。
- 健診の受診時期につきましては、**機器の交換時期とあわせてご受診いただくことをお勧めします。**
- その他ご不明点につきましては、下記のご予約いただきました施設へお問い合わせください。

お問い合わせ連絡先



池袋 03-3989-1112 東京 03-3548-2451 新宿 03-3375-3371 板橋 03-3967-1515
渋谷 03-3770-3100 千葉 043-204-5511 八重洲 03-3567-2080 仙台 022-792-5000

インスリンポンプ・持続グルコース測定器は 磁気の影響を受ける可能性があります。 検査前に必ず取り外しをお願いいたします。

インスリンポンプ

ミニメド620G/640G
インスリンポンプ
日本メドトロニック(株)



パラダイムインスリンポンプ
712/722
日本メドトロニック(株)



メディセーフウィズ
テルモ(株)



TOP-8200
(株)トップ

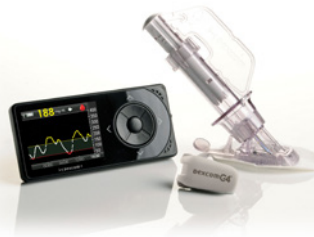


持続グルコース測定器 (CGM/FGM)

ミニメド620G/640Gトランスミッタ
ガーディアンコネク
tPro2
日本メドトロニック(株)



Dexcom G4 PLUTINUMシステム
テルモ(株)



FreeStyle リブレセンサー
FreeStyle リブレ Pro センサー
アボットジャパン(同)



取り外しが必要なもの

療法	製品名	装着・携帯しているもの	X線	CT	MRI
インスリンポンプ	ミニメド620G/640Gインスリンポンプ パラダイムインスリンポンプ712/722	注入セット	必要なし	必要なし	必要なし
		ポンプ本体	必要	必要	必要
	メディセーフウィズ	注入セット(パッチ)	必要	必要	必要
		ポンプ	必要	必要	必要
CGM/FGM	ミニメド620G/640Gトランスミッタ ガーディアンコネク tPro2	注入セット	必要なし	必要なし	必要
		トランスミッタ・レコーダー	必要	必要	必要
	Dexcom G4 PLUTINUMシステム	センサー	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
FreeStyle リブレセンサー FreeStyle リブレ Pro センサー	トランスミッタ	必要	必要	必要	
	センサー	必要	必要	必要	

各製品の使用方法については各社コールセンターまでお問い合わせください。

日本メドトロニック株式会社 日本メドトロニック24時間サポートライン TEL: 0120-56-32-56 受付時間24時間365日

テルモ株式会社 テルモ・コールセンター TEL: 0120-76-8150 CGM・血糖測定システム等 24時間365日受付
TEL: 0120-84-1214 インスリンポンプ専用 24時間365日受付

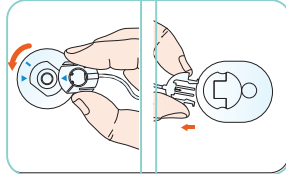
株式会社トップ TEL: 03-3882-7741 月曜～金曜8:30～17:30(祝日・会社休日を除く)
※お問い合わせは医療従事者の方に限らせていただきます。

アボットジャパン合同会社 お客様相談窓口: 0120-37-8055 受付時間: 【月曜～金曜】8:00-20:00、【祝日】8:00-17:00
お客様相談窓口メールアドレス(常時受付): adc-cs.jp@abbott.com

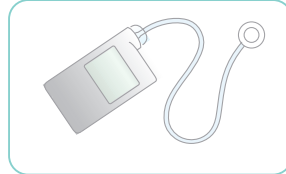
取り外し方法

インスリンポンプ

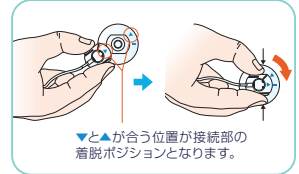
ミニメド620G/
640Gインスリンポンプ
パラダイムインスリンポンプ712/722



① 注入セットからチューブを取り外します。



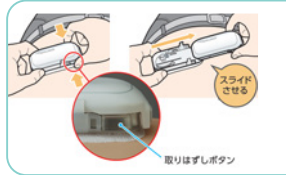
② ポンプとチューブを体から取り外し、清潔な場所に保管します。



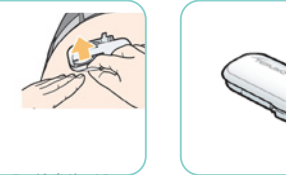
③ 検査後、再びチューブを取り付けます。

▼と▲が合う位置が接続部の着脱ポジションとなります。

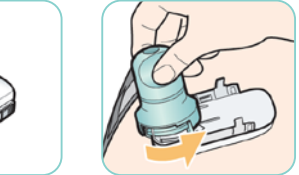
メディセーフウィズ



① ポンプをパッチから取り外した後、パッチを体からはがします。



② ポンプを清潔な場所に保管します。

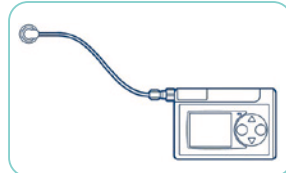


③ 検査後、新しいパッチを取り付けます。

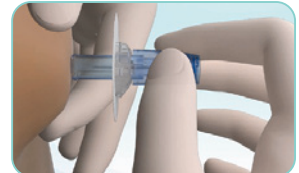
TOP-8200



① 注入セットからチューブを取り外します。



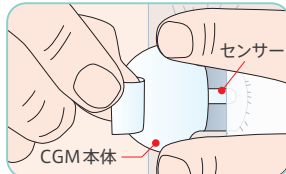
② ポンプを体から取り外し、保管します。



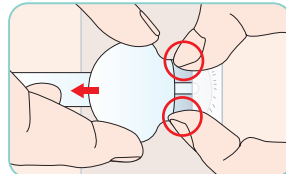
③ 検査後、新しい注入セットを取り付けます。

持続グルコース測定器 (CGM/FGM)

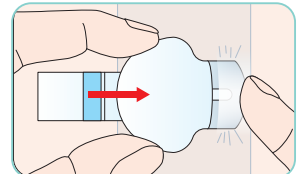
ミニメド620G/640Gトランスミッタ
ガーディアンコネク、
iPro2



① 粘着タブをCGM本体から慎重に外します。



② センサーからCGM本体を取り外した後、センサーをそっとはがします。



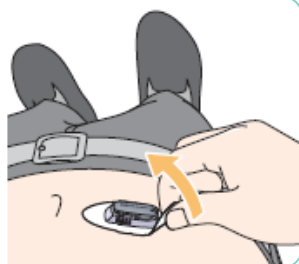
③ 検査後、新しいセンサーを装着し、CGM本体をセンサーに取り付けます。

Dexcom G4 PLUTINUM
システム



粘着パッドを皮膚からはがします。

【注意】
センサーが皮膚に付いている状態でトランスミッターをセンサーから外さないこと。



FreeStyle リブレセンサー
FreeStyle リブレ Pro センサー

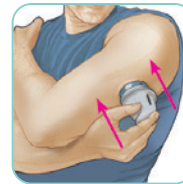
【注意】
※ センサーには装着期間中の測定データが保存されています。取り外したセンサーの取り扱いについては、かかりつけの医療機関にご相談ください。
※ 新しいセンサーの装着についてもかかりつけの医療機関にご相談ください。



FreeStyle リブレセンサー



① センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。



② 検査後、新しいセンサーを装着し、起動します。

FreeStyle リブレ Pro センサー



センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。